

【取組概要】

- イピカプロジェクトやコキア植栽を通して、都市農村交流人口の増加を図る。
- 地域おこし協力隊が農産物の集出荷を行うことで、集落の活性化につなげた。

地域の現状

当地区は、伊万里市西部、国見山系に位置し標高300mの山々に囲まれた風光明媚な棚田地域。

地元の学生との交流や大学・企業ボランティアと連携した活動など中山間振興に意欲的に取り組んでいる。

協定の概要(R5)

1. 取組面積 45.5ha
(田 45.5ha 畑 ha)
2. 交付金額 1114.8万円
個人配分 45%
共同取組 55%
3. 協定参加者 49人
農業者 49人

😊 交付金はこんなことに活用しています！

農道・水路管理費、鳥獣被害対策費、都市住民との交流、ブランド品づくり、地産地消活動など

取組内容

①イピカプロジェクト

- ・佐賀大学とのコラボ。イノシシ防護柵のワイヤーメッシュをイルミネーションでライトアップした（8月～12月）。
- ・10月にイピカコンサート開催。スタッフ併せて300人が参加
- ・イピカプロジェクトの期間中の来客は1000人を超えた。

②ドローンによる防除

- ・R5年実績で、延べ24.3haをドローンで防除した。
- ・適期防除、省力化につながったことから将来的に取組面積を拡大する予定。

③地域のブランド品づくりの一環として「黒米」の栽培

- ・R5年実績で74.9aで栽培した。

④農産物の集荷による集落の活性化

- ・地域おこし協力隊が、集落支援として地元農産物の集出荷を管理し、「川内野千菜会（かわちのせんじゃかい）」としてJA伊万里農産物直売所“四季の館”に出荷。
- ・併せてランキング発表するなどした結果、農家の生産意欲が向上し集落の活性化につながった。

その他の主な成果・活動

- ・川内野オリジナル米袋作製 3キロ袋・5キロ袋・10キロ袋
- ・コキア1000本植栽→将来的にはキャンプ場に整備したい。
- ・有害鳥獣支援員として2名がわな免許取得。
- ・企業ボランティアによる草刈り、イベント支援。

【棚田地域振興活動加算】
加算金を上記のような様々な活動に活用することにより集落の意識向上と地域振興に役立った。



イピカプロジェクト



オリジナル紙袋



コキア畑